

ジョリパット不燃
マテリアルシリーズ
水墨仕上げ（淡色）
施工の手引き

平成19年 5月【初版】
平成27年10月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約13㎡/缶
骨 材	JF-1 JF-3 JF-76	寒水石1厘 寒水石3厘 太閤活性炭	20kg袋 20kg袋 8kg袋	約20.8㎡/袋 約4.0㎡/袋 約33.3㎡/袋

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ
- ・仕上げゴテ (ステンレス製の腰が柔らかいゴテ)

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<水墨（淡色）仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	1 8 ℓ
塗 布 量	0 . 0 7 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	J Q - 2 0 0 シ-ス [※]	2 0 k g
	J F - 3	1 0 k g
	清 水	1 . 5 ~ 2 ℓ
塗 布 量	約 1 . 5 k g / m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後出た鋸波を消すように平滑に押さえる。(図-1)	

夏期 8時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 混合

配 合	J F - 7 6	1 k g
	清 水	2 ℓ
・ J F - 7 6 に水をよく染み込ませる。		

4. 主材 上塗り

配 合	J Q - 2 0 0 シ-ス [※]	2 0 k g
	J F - 1	4 k g
	3. 主材 混合で作製した材料	
塗 布 量	約 0 . 6 k g / m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテにて均一に塗布する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3. 主材 混合で水を十分染み込ませた J F - 7 6 を J Q - 2 0 0 及び J F - 1 と混ぜる。粘度が高い場合は清水を + 1 ℓ 程度混ぜ、粘度調整を行なう。 ・ 調合した材料を配る時、コテのエッジをたて、J F - 7 6 すり潰しながら薄く配って、扇状に塗りパターン付けをする。(図-2) 		

20～30分程度後

5. 仕上げ

- ・ JF-76 が表面に出ないように、仕上ゴテで塗材表面を擦りながら平滑に仕上げる。

< 施工のポイント >

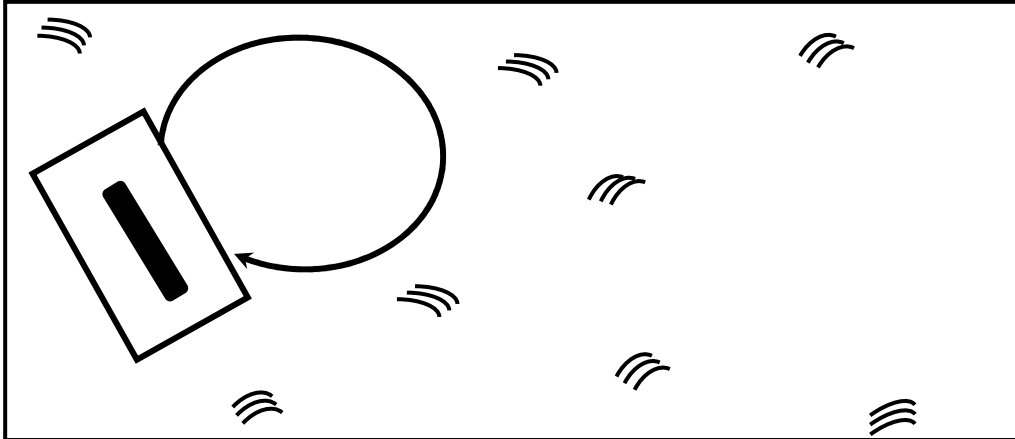
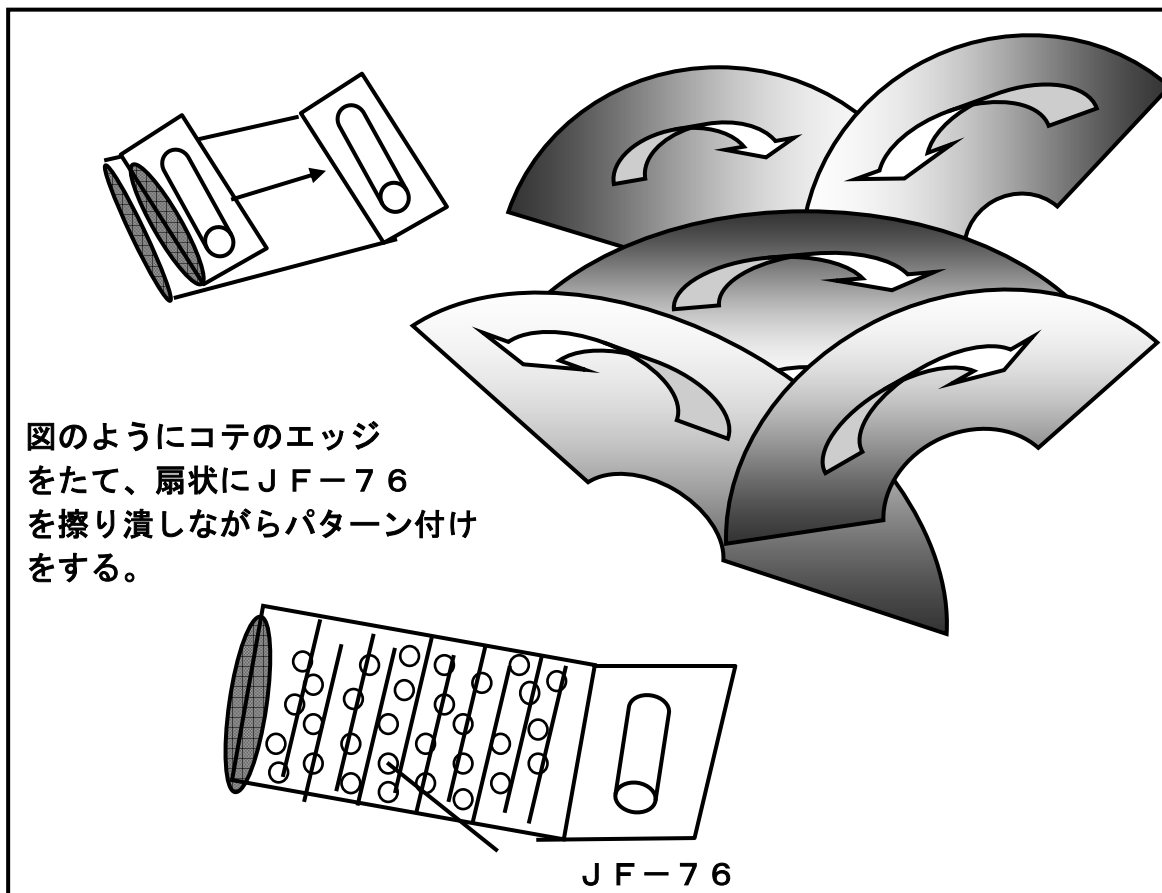


図-1

- ・ 下塗りは薄く塗布しながら全体を骨材が転がるように荒して、平滑に押さえる。



図のようにコテのエッジをたて、扇状にJF-76を擦り潰しながらパターン付けをする。

JF-76

図-2

＜施工の注意事項＞

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 下塗りは厚付けにならないように薄く塗って下さい。(厚いと仕上がりが悪くなります。)
- ・ 上塗り配合は必ずJF-76に水を染み渡らせてから攪拌を行う。水を染み渡らせないと攪拌が困難になるだけでなく、JF-76をすり潰すことが非常に困難になります。
- ・ 上塗り施工の際、**低温時は特に厚い部分を作らないように施工してください。**
(低温(5℃以下)で塗布量が多いと、乾燥時に塗膜表面に亀甲状の割れが発生する場合があります。)
- ・ コテを一定方向(縦又は横方向)に動かさず、ランダムに骨材を擦りつぶすようにする。(一定方向にすりつぶすと模様がそのまま残り仕上がりが悪くなります。)
- ・ 仕上げは全体的にぼかした壁面となるよう、**仕上げコテは何度も動かす。**JF-76が表面に出ていると乾燥後、手や衣服にJF-76が付着する恐れがあります。(骨材が潰れたすじが残らないよう注意する。)
- ・ この仕上げは天然石を使用している為、見本と色目が異なる事があります。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ **このパターンは作業により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。**塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。

以 上